



リンクを使用

Amazon FSx for NetApp ONTAP

NetApp
February 11, 2026

目次

リンクを使用	1
NetApp Workload Factoryのリンクについて学ぶ	1
リンクが有益な理由	1
リンクの仕組み	1
コスト	1
リンクが必要な場合	2
LambdaリンクでFSx for ONTAPファイルシステムに接続	2
新しいリンクの関連付け	3
既存のリンクをFSx for ONTAPファイルシステムに関連付ける	8
AWS Secrets Managerのリンク認証に関する問題のトラブルシューティング	9
ワークロードファクトリーのリンクを管理する	9
アカウントに関連付けられているリンクを表示する	9
リンクの編集	10
リンクの認証	10
リンク認証用のパスワードを更新する	11
リンクの削除	11

リンクを使用

NetApp Workload Factoryのリンクについて学ぶ

NetApp Workload Factory リンクは、Workload Factory アカウントと 1 つ以上の FSx for ONTAP ファイル システムの間に信頼関係と接続を作成します。これにより、Amazon FSx for ONTAP API では利用できない特定のファイルシステム機能を、ONTAP REST API 呼び出しから直接監視および管理できるようになります。

Workload Factory の使用を開始するためにリンクは必要ありませんが、場合によっては、Workload Factory のすべての機能とワークロード機能のロックを解除するためにリンクを作成する必要があります。

リンクが有益な理由

リンクを使用すると、Workload Factory が Amazon FSx for ONTAP API を通じてネイティブに利用できない操作を実行できるようになるため、便利です。リンクにより、高度なONTAP機能と自動化が可能になり、FSx for ONTAP ファイル システムの管理が強化されます。

リンクを使用する利点は次のとおりです。

- このリンクにより、NetApp コンソールは ONTAP コマンドを FSx for ONTAP ファイル システムに直接送信できるようになります。AWS がネイティブに提供する機能を超える高度なONTAP機能が利用できるようになります。
- リンクは AWS Lambda を活用してイベントに応答するコードを実行します。このサーバーレス アプローチにより、VPC 内で実行されるインスタンスへの依存が排除されます。

リンクの仕組み

リンクは AWS Lambda を利用します。Lambda はイベントに応じてコードを実行し、そのコードに必要なコンピューティングリソースを自動的に管理します。作成したリンクは NetApp アカウントの一部であり、AWS アカウントに関連付けられています。

リンクを作成したら、それを 1 つまたは複数の FSx for ONTAP ファイル システムに関連付けることができます。各ファイルシステムは、同じ NetApp アカウント内の 1 つのリンクにのみ関連付けることができます。複数の NetApp アカウントがある場合は、1 つのファイルシステムを別々の NetApp アカウントの下にある追加のリンクに関連付けることができます。

Workload Factory のストレージ ワークロードからリンクを作成し、関連付けます。

Workload Factory 認証情報サービスに保存されている認証情報、または AWS Secrets Manager に保存されている認証情報を使用してリンクを認証できます。ワークロード ファクトリーは認証モードの変更をサポートしていません。

コスト

Lambda が実行するトランザクションごとに料金が発生します。Lambda は 2 つのシステム間のプロキシとして機能するため、Lambda がファイルシステム上のONTAP REST API にリクエストを送信するとき、および応答を Workload Factory に返すときに料金が発生します。

["AWS Lambdaの使用に関連するコストの詳細を確認する"](#)

リンクが必要な場合

ワークロード ファクトリーでは、情報を表示したりタスクを実行したりするためのリンクが必要です。リンクを必要とする操作を実行しようとしたが、FSx for ONTAP ファイル システムにリンクが関連付けられていない場合、Workload Factory は操作にリンクが必要であることを通知します。

リンクが必要な機能は次のとおりです。

- ・プロアクティブなメンテナンス、信頼性、コストパフォーマンスの最適化を実現する FSx for ONTAP ファイルシステム構成の適切なアーキテクチャの状態
- ・ONTAP EMS イベント監視とアラート
- ・NetApp自律型ランサムウェア保護 (ARP/AI)
- ・FSx for ONTAP ファイルシステム全体の容量の総合的な観測性が強化されました
- ・ボリュームおよびストレージ VM データのレプリケーション、管理、および監視
- ・SMB/CIFS共有およびNFSエクスポートポリシーのプロビジョニングと管理
- ・FSx for ONTAP ファイルシステムでのiSCSIボリュームの管理
- ・カスタム保護 SLA のスナップショット ポリシーの作成と管理
- ・自動容量管理のためのiノード管理の強化
- ・弾力的なスケーリングのためのボリューム自動拡張
- ・クローンの作成と管理により、即時にインプレースでデータのクローンを作成できます。
- ・ONTAPバージョンなどの追加メトリックをONTAPから直接表示する

方法をご確認ください["FSx for ONTAP ファイルシステムへのリンクを接続する"](#)。

LambdaリンクでFSx for ONTAP ファイルシステムに接続

高度なONTAP管理操作を実行するには、Workload Factory アカウントと 1 つ以上の FSx for ONTAP ファイル システム間の接続を設定します。これには、新しい Lambda リンクと既存の Lambda リンクの関連付けと、リンクの認証が含まれます。リンクの関連付けにより、Amazon FSx for ONTAP API 経由では利用できない特定の機能を FSx for ONTAP ファイルシステムから直接監視および管理できます。

["リンクの詳細"](#)です。

タスクの内容

リンクはAWS Lambdaを利用してイベントに応じてコードを実行し、そのコードに必要なコンピューティングリソースを自動的に管理します。作成したリンクはNetAppアカウントの一部であり、AWSアカウントに関連付けられています。

FSx for ONTAP ファイルシステムを定義するときに、アカウントにリンクを作成できます。リンクはそのファイルシステムに使用され、他の FSx for ONTAP ファイルシステムにも使用できます。後でファイルシステムのリンクを関連付けることもできます。

リンクには認証が必要です。Workload Factory 認証情報サービスに保存されている認証情報、または AWS Secrets Manager に保存されている認証情報を使用してリンクを認証できます。リンクごとに 1 つの認証方法のみがサポートされます。たとえば、AWS Secrets Manager を使用したリンク認証を選択した場合、後で認証方法を変更することはできません。



コンソールエージェントを使用する場合、AWS Secrets Manager はサポートされません。

新しいリンクの関連付け

新しいリンクの関連付けには、リンクの作成と関連付けが含まれます。

このワークフローでリンクを作成するには、自動または手動の 2 つのオプションがあります。リンクを作成するには、AWS アカウントで AWS CloudFormation スタックを起動する必要があります。

- ・ **自動:** Workload Factory 経由で自動登録してリンクを作成します。自動的に作成されたリンクには、Workload Factory 自動化用のトークンが必要であり、CloudFormation コードの有効期間は短くなります。最大 6 時間までしか使用できません。
- ・ **手動:** Codebox から CloudFormation または Terraform を使用して手動で登録し、リンクを作成します。コードが存続し、操作を完了するための時間が延長されます。これは、セキュリティや DevOps などのさまざまなチームと連携して作業する場合に便利です。これらのチームには、リンクの作成を完了するために必要な権限を最初に付与する必要があります。

開始する前に

- ・ どのリンク作成オプションを使用するかを検討する必要があります。
- ・ Workload Factory には少なくとも 1 つの FSx for ONTAP ファイルシステムが必要です。FSx for ONTAP ファイルシステムを検出するには、FSx for ONTAP インスタンスに対する権限を持つ AWS アカウントが必要です。"Workload Factory に資格情報を追加する"ストレージ管理の_表示、計画、および分析_権限を持ちます。
- ・ リンク接続のために、FSx for ONTAP ファイルシステムに関連付けられたセキュリティ グループで次のポートが開いている必要があります。
 - Workload Factory コンソールの場合: ポート 443 (HTTPS)
 - CloudShell および FSx for ONTAP 緊急管理システム (EMS) イベント分析の場合: ポート 22 (SSH)
- ・ リンクは次のエンドポイントに接続できる必要があります: <https://api.workloads.netapp.com>。Web ベースのコンソールは、このエンドポイントに接続して Workload Factory API と対話し、FSx for ONTAP ワーク ロードを管理および操作します。
- ・ CloudFormation スタックを使用してリンクを追加する場合は、AWS アカウントで次の権限が必要です。

```
"cloudformation:GetTemplateSummary",
"cloudformation>CreateStack",
"cloudformation>DeleteStack",
"cloudformation>DescribeStacks",
"cloudformation>ListStacks",
"cloudformation>DescribeStackEvents",
"cloudformation>ListStackResources",
"ec2:DescribeSubnets",
"ec2:DescribeSecurityGroups",
"ec2:DescribeVpcs",
"iam>ListRoles",
"iam>GetRolePolicy",
"iam>GetRole",
"iam>DeleteRolePolicy",
"iam>CreateRole",
"iam>DetachRolePolicy",
"iam>PassRole",
"iam>PutRolePolicy",
"iam>DeleteRole",
"iam>AttachRolePolicy",
"lambda>AddPermission",
"lambda>RemovePermission",
"lambda>InvokeFunction",
"lambda>GetFunction",
"lambda>CreateFunction",
"lambda>DeleteFunction",
"lambda>TagResource",
"codestar-connections>GetSyncConfiguration",
"ecr>BatchGetImage",
"ecr>GetDownloadUrlForLayer"
```

自動作成

CloudFormation を使用して、Workload Factory 内でリンクを自動的に作成して登録します。

手順

1. いずれかを使用してログインし"コンソールエクスペリエンス"ます。
2. メニューを選択  次に*ストレージ*を選択します。
3. [ストレージ] メニューから、**FSx for ONTAP** を選択します。
4. *FSx for ONTAP*から、リンクを関連付けるファイルシステムのアクションメニューを選択し、*リンクの関連付け*を選択します。
5. [リンクの関連付け]ダイアログで、[新しいリンクの作成]*を選択し、[続行]*を選択します。
6. [Create Link]ページで、次の情報を指定します。
 - a. リンク名：このリンクに使用する名前を入力します。名前はアカウント内で一意である必要があります。
 - b. **AWS Secrets Manager**: オプション。Workload Factory が AWS Secrets Manager から FSx for ONTAP アクセス認証情報を取得できるようにします。

リンク デプロイメント スタックは、次のデフォルトのシークレット マネージャー ARN 正規表現を Lambda アクセス許可ポリシーに自動的に追加します。

`arn:aws:secretsmanager:<link_deployment_region>:<link_deployment_account_id>:secret:FSxSecret*`

デフォルトの権限に合わせてシークレットを作成するか、リンクポリシーにカスタムの権限を割り当てることができます。

- VPCプライベートエンドポイントをAWS Secrets Managerに設定*はデフォルトで無効になっています。このオプションを選択すると、シークレットはローカルではなくVPCプライベートエンドポイントを使用して格納されます。
- c. リンクの権限: リンクの権限について、次のいずれかのオプションを選択します。
 - 自動: このオプションを選択すると、AWS CloudFormation コードによって Lambda アクセス許可ポリシーと実行ロールが自動的に作成されます。
 - ユーザー指定: 指定したLambda実行ロールとそれに紐付けられたポリシーをLambdaリンクに割り当てるには、このオプションを選択します。Lambdaには以下の権限が必要です。`secretsmanager:GetSecretValue` AWS Secrets Manager を有効にした場合にのみ、権限が必要です。

```
"ec2:CreateNetworkInterface",
"ec2:DescribeNetworkInterfaces",
"ec2:DeleteNetworkInterface",
"ec2:AssignPrivateIpAddresses",
"ec2:UnassignPrivateIpAddresses",
"secretsmanager:GetSecretValue"
```

テキストボックスに Lambda 実行ロール ARN を入力します。

- d. タグ: 必要に応じて、リソースをより簡単に分類できるように、このリンクに関連付けるタグを追加します。たとえば、FSx for ONTAPファイルシステムでこのリンクが使用されていることを示すタグを追加できます。

ワークロードファクトリーは、FSx for ONTAPファイルシステムに基づいて、AWS アカウント、場所、セキュリティグループを自動的に取得します。

7. 「* Create *」を選択します。

「CloudFormation にリダイレクト」ダイアログが表示され、AWS CloudFormation サービスからリンクを作成する方法が説明されます。

8. [続行]*を選択して AWS 管理コンソールを開き、この FSx for ONTAP ファイルシステムの AWS アカウントにログインします。
9. [Quick create stack] ページの [Capabilities] で、*[I acknowledge that AWS CloudFormation might create IAM resources]*を選択します。

CloudFormation テンプレートを起動すると、Lambda に 3 つの権限が付与されます。Workload Factory では、リンクの使用時にこれらの権限が使用さ

```
"lambda:InvokeFunction",
"lambda:GetFunction",
"lambda:UpdateFunctionCode"
```

10. を選択し、[続行]*を選択します。

リンク作成ステータスはイベント ページで監視できます。これには 5 分もかかりません。

11. Workload Factory インターフェイスに戻ると、リンクが FSx for ONTAP ファイルシステムに関連付けられていることがわかります。

手動で作成

Codebox の 2 つの Infrastructure-as-Code (IaC) ツール、CloudFormation または Terraform を使用してリンクを作成できます。このオプションを使用すると、AWS CloudFormation からリンクの ARN を抽出し、ここで報告します。ワークロード ファクトリーがリンクを手動で登録します。

手順

1. いずれかを使用してログインし "コンソールエクスペリエンス" ます。
2. メニューを選択  次に *ストレージ* を選択します。
3. [ストレージ] メニューから、**FSx for ONTAP** を選択します。
4. *FSx for ONTAP* から、リンクを関連付けるファイルシステムのアクション メニューを選択し、*リンクの関連付け* を選択します。
5. [リンクの関連付け] ダイアログで、[新しいリンクの作成]* を選択し、[続行]* を選択します。
6. [リンクの作成] ページで、コードボックスから CloudFormation または Terraform を選択し、次の情報を入力します。

- a. リンク名: このリンクに使用する名前を入力します。名前はアカウント内で一意である必要があります。
- b. **AWS Secrets Manager**: オプション。 Workload Factory が AWS Secrets Manager から FSx for ONTAPアクセス認証情報を取得できるようにします。

リンク デプロイメント スタックは、次のデフォルトのシークレット マネージャー ARN 正規表現を Lambda アクセス許可ポリシーに自動的に追加します。

`arn:aws:secretsmanager:<link_deployment_region>:<link_deployment_account_id>:secret:FSxSecret*`。

デフォルトの権限に合わせてシークレットを作成するか、リンクポリシーにカスタムの権限を割り当てることができます。

- VPCプライベートエンドポイントをAWS Secrets Managerに設定*はデフォルトで無効になっています。このオプションを選択すると、シークレットはローカルではなくVPCプライベートエンドポイントを使用して格納されます。
- c. リンクの権限: リンクの権限について、次のいずれかのオプションを選択します。
 - 自動: このオプションを選択すると、AWS CloudFormation コードによって Lambda アクセス許可ポリシーと実行ロールが自動的に作成されます。
 - ユーザー指定: 指定したLambda実行ロールとそれに紐付けられたポリシーをLambdaリンクに割り当てるには、このオプションを選択します。Lambdaには以下の権限が必要です。
`secretsmanager:GetSecretValue` AWS Secrets Manager を有効にした場合にのみ、権限が必要です。

```
"ec2:CreateNetworkInterface",
"ec2:DescribeNetworkInterfaces",
"ec2:DeleteNetworkInterface",
"ec2:AssignPrivateIpAddresses",
"ec2:UnassignPrivateIpAddresses"
"secretsmanager:GetSecretValue"
```

テキストボックスに Lambda 実行ロール ARN を入力します。

- d. タグ: 必要に応じて、リソースをより簡単に分類できるように、このリンクに関連付けるタグを追加します。たとえば、FSx for ONTAPファイルシステムでこのリンクが使用されていることを示すタグを追加できます。
- e. リンクの登録: リンクの登録方法については、CloudFormation または Terraform を選択し、指示に従います。

CloudFormationテンプレートを起動すると、Lambdaに3つの権限が付与されます。Workload Factoryでは、リンクの使用時にこれらの権限が使用さ

```
"lambda:InvokeFunction",
"lambda:GetFunction",
"lambda:UpdateFunctionCode"
```

- + スタックが正常に作成されたら、テキストボックスにLambda ARNを貼り付けます。
 - a. ワークロードファクトリーは、FSx for ONTAPファイルシステムに基づいて、AWS アカウント、場所、セキュリティグループを自動的に取得します。
7. 「* Create *」を選択します。
- リンク作成ステータスはイベント ページで監視できます。これには 5 分もかかりません。
8. Workload Factory インターフェイスに戻ると、リンクが FSx for ONTAP ファイル システムに関連付けられていることがわかります。

結果

ワークロード ファクトリーは、リンクを FSx for ONTAP ファイル システムに関連付けます。高度なONTAP操作を実行できます。

既存のリンクをFSx for ONTAPファイルシステムに関連付ける

リンクを作成したら、1つ以上のFSx for ONTAPファイルシステムに関連付けます。

手順

1. いずれかを使用してログインし"コンソールエクスペリエンス"ます。
2. メニューを選択  次に*ストレージ*を選択します。
3. [ストレージ] メニューから、**FSx for ONTAP** を選択します。
4. *FSx for ONTAP*から、リンクを関連付けるファイルシステムのアクションメニューを選択し、*リンクの関連付け*を選択します。
5. [リンクの関連付け]ページで*を選択し、リンクを選択して[続行]*を選択します。
6. 認証モードを選択します。
 - Workload Factory : パスワードを2回入力します。
 - AWS Secrets Manager : シークレットARNを入力します。

filesystemID はオプションですが、シークレットARNに次の有効なキー ペアが含まれていることを確認します。

- *filesystemID* = FSx_filesystem_id (オプション)
- ユーザー = FSx_user
- password = user_password



AWS Secrets Manager を使用した認証には、指定した *FSx_user* または FSx for ONTAP ファイルシステムで作成された別のユーザーが必要です。デフォルトのユーザーは `fsxadmin` ユーザーを指定しない場合は、

7. * 適用 * を選択します。

結果

リンクはFSx for ONTAPファイルシステムに関連付けられています。高度なONTAP処理を実行できます。

AWS Secrets Managerのリンク認証に関する問題のトラブルシューティング

問題

リンクにシークレットを取得する権限がありません。

解決策：リンクがアクティブになった後に権限を追加します。AWSコンソールにログインし、Lambdaリンクを見つけて、添付されている権限ポリシーを編集します。

問題

その秘密は見つからない。

解決策：正しいシークレットARNを指定します。

問題

その秘密は正しい形式ではない。

解決方法：AWS Secrets Managerに移動して形式を編集します。

シークレットには、次のキー有効なペアが含まれている必要があります。

- filesystemID = fsx_filesystem_id
- ユーザー名 = FSx_user
- password = user_password

問題

シークレットに、ファイルシステム認証用の有効なONTAPクレデンシャルが含まれていません。

解決方法：AWS Secrets ManagerでFSx for ONTAPファイルシステムを認証するためのクレデンシャルを指定します。

ワークロードファクトリーのリンクを管理する

Workload Factory アカウントに関連付けたリンクを管理します。FSx for ONTAPファイルシステムに関連付けられているリンクを表示したり、リンク認証に使用するパスワードを指定したり、Workload Factory コンソールからリンクを削除したりできます。

["リンクの詳細" または "リンクを作成して関連付ける"。](#)

アカウントに関連付けられているリンクを表示する

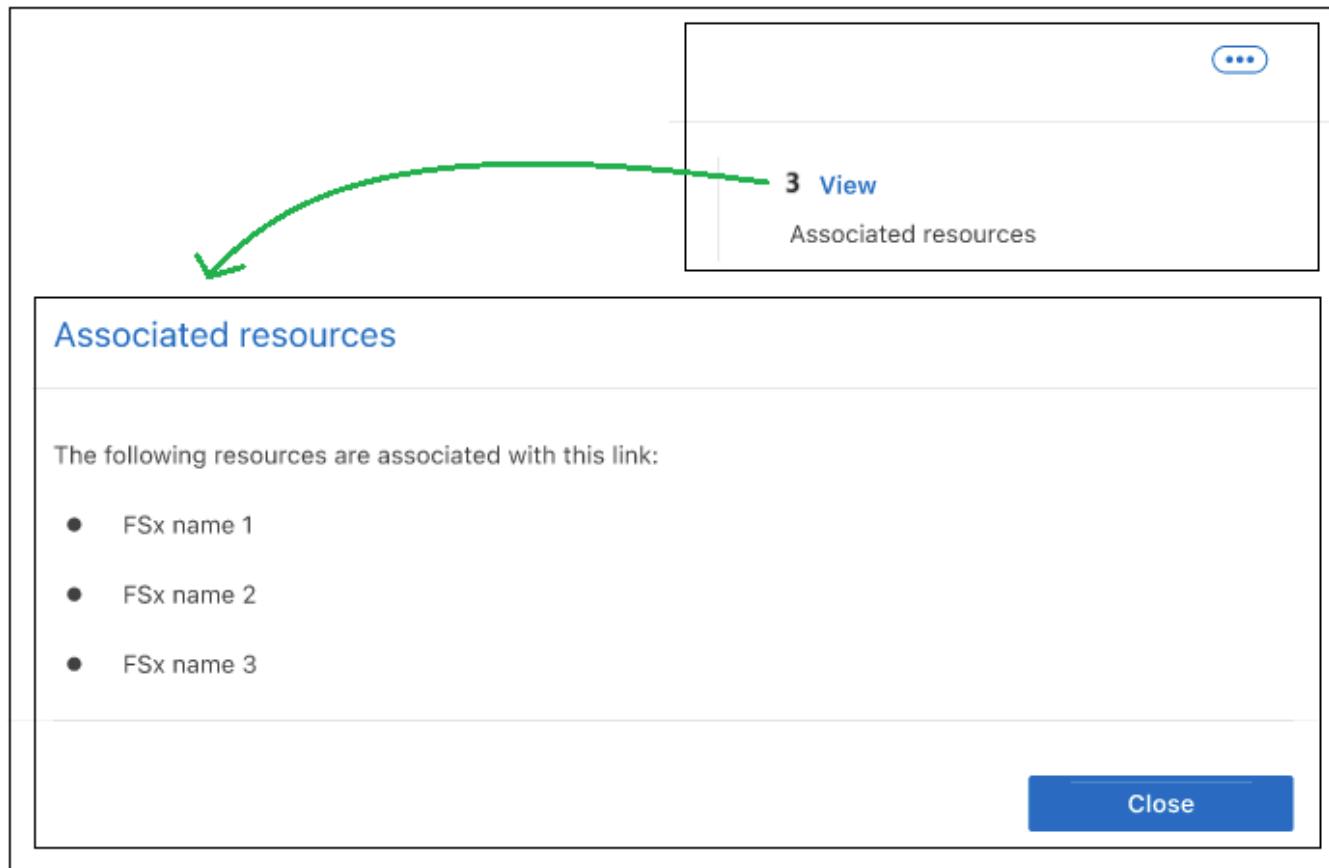
現在アカウントに関連付けられているリンクを表示できます。

手順

1. いずれかを使用してログインし["コンソールエクスペリエンス"](#)ます。
2. ストレージメニューから、*管理*を選択し、次に*リンク*を選択します。

既存のリンクは「リンク」ページに表示されます。

3. リンクに関連付けられているFSx for ONTAPファイルシステムを表示するには、[関連リソース]セクションで*[表示]ボタンを選択します。



4. リンクにAmazon Resource Name (ARN) が必要な場合は、ARNフィールドの横にある_COPY_ICONを選択します。

リンクの編集

Workload Factory インターフェースからリンクを編集することはできません。リンクを変更する必要がある場合は、新しいリンクを作成し、そのリンクをファイルシステムに関連付ける必要があります。



AWSコンソールを使用してLambdaネットワーク構成 (VPC、サブネット、セキュリティグループなど) を編集すると、変更がリンク管理UIに反映されますが、これらの変更によってLambdaとONTAP間の接続の問題が発生する可能性があるため、推奨されません。

リンクの認証

リンクを FSx for ONTAPファイルシステムに接続するには、Workload Factory 認証情報の管理ユーザーパスワードまたは AWS Secrets Manager シークレット ARN を指定します。

コンソールエージェントを使用する場合、AWS Secrets Manager はサポートされません。



1つのリンクでサポートされる認証方式は1つだけです。たとえば、[Link authentication with AWS Secrets Manager]を選択した場合、あとで認証方法を変更することはできません。

手順

1. いずれかを使用してログインし"コンソールエクスペリエンス"ます。
2. メニューを選択  次に*ストレージ*を選択します。
3. [ストレージ] メニューから、**FSx for ONTAP** を選択します。
4. *FSx for ONTAP*から、リンクを関連付けるファイル システムのアクション メニューを選択し、*管理*を選択します。
5. ファイルシステムの概要で、*[リンクの認証]*を選択します。
6. [Authenticate]リンクページで、認証モードを選択します。
 - Workload Factory：パスワードを2回入力します。
 - AWS Secrets Manager：シークレットARNを入力します。
7. * 適用 * を選択します。

結果

リンクが認証され、高度なONTAP処理を実行できます。

リンク認証用のパスワードを更新する

管理パスワードが無効な場合は、パスワードを更新してFSx for ONTAPファイルシステムへのリンクを接続します。

手順

1. いずれかを使用してログインし"コンソールエクスペリエンス"ます。
2. メニューを選択  次に*ストレージ*を選択します。
3. [ストレージ] メニューから、**FSx for ONTAP** を選択します。
4. *FSx for ONTAP*から、リンクを関連付けるファイル システムのアクション メニューを選択し、*管理*を選択します。
5. ファイルシステムの概要で、*[パスワードの更新]*を選択します。
6. [Authenticate]リンクページで、新しいパスワードを2回入力します。
7. * 適用 * を選択します。

結果

パスワードが更新され、FSx for ONTAPファイルシステムにリンクが接続されました。

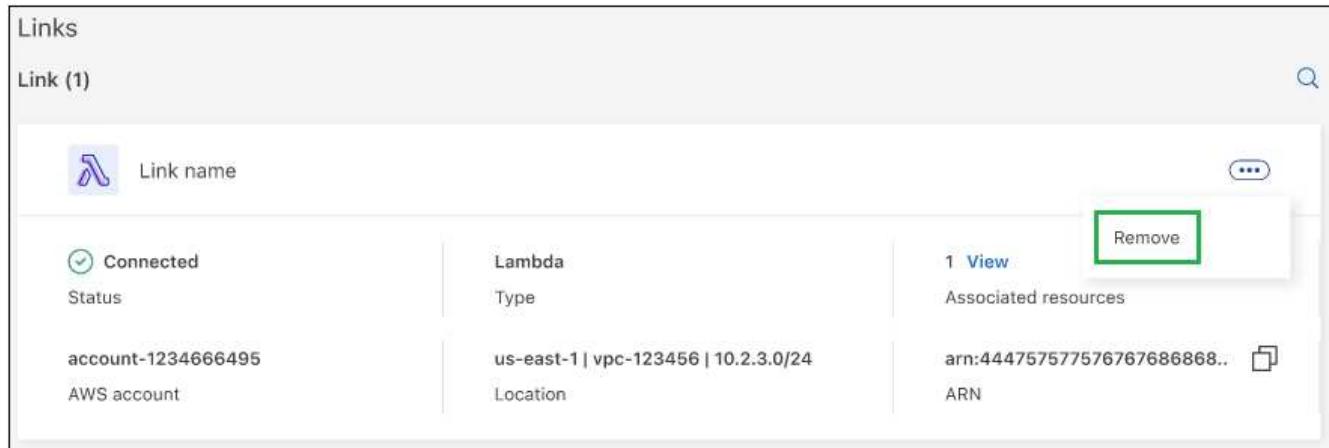
リンクの削除

環境で使用しなくなったリンクを削除できます。リンクを使用していたFSx for ONTAPファイルシステムやその他のリソースは、リンクを削除すると特定の機能を使用できなくなります。

リンクは Workload Factory からのみ削除され、AWS 環境からは削除されないことに注意してください。Workload Factory のリンクを削除した後、AWS アカウントから Lambda 関数を削除する必要があります。

手順

1. いずれかを使用してログインし"コンソールエクスペリエンス"ます。
 2. メニューを選択  次に*ストレージ*を選択します。
 3. ストレージメニューから、*管理*を選択し、次に*リンク*を選択します。
- 既存のリンクは「リンク」ページに表示されます。
4. 「リンク」ページで、削除するリンクのアクションメニューを選択し、「削除」を選択します。



The screenshot shows the 'Links' page in the AWS Lambda console. It displays a single link entry for 'account-1234666495'. The entry includes fields for 'Status' (Connected), 'AWS account' (account-1234666495), 'Type' (Lambda), 'Location' (us-east-1 | vpc-123456 | 10.2.3.0/24), and 'Associated resources' (arn:44475757576767686868..). A 'Remove' button is highlighted with a green box. The page also features a search bar and a '...' button.

5. 確認する場合は、*[削除]*をもう一度選択します。

AWSのドキュメントを参照してください ["Lambda関数の削除"](#)。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。